

地域参加

働く人の 地域での 諸活動。

女性 既婚 50歳代
同じ場所に住んでいると、子供会や学校、地域の役が何度も回ってきます。時間や手間が掛かる事が多いけれど、活動中に笑顔で手伝ってもらったり、野菜や果物等を戴いたり、地域の方々の温かさに出会う事も多く、ここに住んでいて良かったと思えます。

女性 既婚 50歳代
婦人会開催行事への参加。地区主催文化祭、運動会への参加。道づくりへの参加(田舎なので神社の整備・草引き等、川の中の藻採り、道路の整備)。地方祭行事への参加。

男性 既婚 40歳代
私は、現在地元の小学校でソフトボール部の監督をしています。私は郊外に住んでいますが、それでも部員達や保護者の方とは普段、会う事は殆どありません。しかし子供達と一緒に泣いたり笑ったり時には怒ったり、保護者とたまに?お酒を飲むのが私の地域交流です。

女性 既婚 40歳代
今現在ほとんど参加しておりません。年2回の清掃活動に参加するのと、母が年1~2回老人会に参加している程度です

女性 既婚 40歳代
私自身は、バレーボール等、スポーツにおいて活動しています。子供は、地域の獅子舞保存会に所属し、活動しています。

<編集後記>

私達は今、経済不況で先が見えず暗い気持ちになりがちです。しかし頂いたアンケート回答の中には仕事を終え、日常生活で地域と繋がりポジティブに活動している方がいらっしゃいました。また、核家族化が当たり前になった現代に、地域と繋がることで人と人のコミュニケーションに幅を持たせています。

ある時を境に地域社会との結びつきの機会を持たない方もいらっしゃいました。働きながら地域社会活動に参加することは生活設計に必要な事だとわかっていても、地域社会と共存するきっかけやタイミングが必要のようです。

愛媛県委託事業(平成21年度労働者の声発信事業)
発行 社団法人 愛媛県労働者福祉協議会
〒790-0066 松山市宮田町125番地 愛媛労福協会館3階
TEL:089-946-2296 FAX:089-947-5616 メールアドレス:e-roufuku@leo.e-catv.ne.jp



Working Voice

ワーキング ヴォイス

NO.13
2010年3月15日

働く人の地域との繋がりと活動

昨今「共同体としての地域社会の弱体化」が進んでいるなか、企業では企業の社会的責任の一環として、地域貢献活動(CSR)に取り組む企業が増えています。働く人、個人はどうでしょうか?日常生活でどのように地域と繋がり、関わっていかうとしているのか?そして、具体的な諸活動は、何をキーワードに活動を開始しているのか?「働く人の地域との関係」アンケートを四国労働金庫愛媛営業本部・全労災愛媛県本部・愛媛県勤労会館・愛媛県生活協同組合連合会で働く職員の方々から回答をいただきました。

地域

日常生活の地域との繋がり、関わり方は?

男性 既婚 50歳代
地域との関わりは大切にしたいと思いつつ、働いていると日常的な関わりはほとんどありません。元々、地域の住人でないのではなさらず。日常的ではありませんが、市民大清掃など地域住民参加の場には極力行くようにしています。

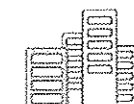
男性 未婚 20歳
一年前に現在の職場に配属となったため、このあたりのことはあまり知りません。しかし、生活の中心となる地域だからこそ、地元の祭りやボランティアなどの地域活動には積極的に関わるようにし、地域のことをよく知ることが大切だと思います。

男性 既婚 40歳代
自分の生活をしている中で、地域との繋がりには切っても切れない、また切ってはいけないものだと思います。災害が起こった時に頼りになるのは地域のコミュニティーです。私も思うだけではなく、積極的に関わっていかうと思いません。

男性 既婚 40歳代
人の繋がりが薄れている今日、町内の人と会話(あいさつ)が出来る事が大切と考えている。会話の中で子供の事、独居老人の様子、また、地域で起きている情報等を把握する事により、よりよい生活を送る事ができる。そのためには、自助努力、相互扶助の精神が最も大切であると考えている。

女性 既婚 50歳代
自治会の中でも高齢化が進み、世話をする人が少なくなっている。日常生活の中で、声を掛け合い目配り気配りをし、人と人の繋がりをつくり絆を強めることにより、防犯、詐欺などの被害防止につながるのではないのでしょうか?

関わり



p2 に続く

地域と繋 Working Voice

日常生活の地域との繋がり、関わり方。

が

女性 既婚 50歳代

近年、都市部のみならず地方でも近隣との繋がりが希薄化しています。一番大切なのは、自分の地域の方々に支えられて生きていると感謝し、周りの人を大切にしていける事ではないでしょうか。自分の住む地域が人を作り、人が地域を作るのだと思います。ガンジーは、隣人を愛する事が、世界平和だと言っています。

女性 既婚 40歳代

子供が小さい頃は、子供を媒体として地域との関わりを近く感じていましたが、子供も大きくなり、個人として地域と関わるには、大きな壁を感じてしまいます。ただ、今後の自分の人生において年齢を重ねた後、必要となると思います。少しずつ努力をして年代にあった地域活動に目をむけたいと思います。

女性 既婚 50歳代

三世同居あるいは親類の叔父さん、叔母さんまたは隣近所に子供達が住むという我が町は親類でなくとも散歩の途中でゴミ置き場で等、必ず何かしら声掛けて、また声掛けられてというふうに、組内の人、そうでない人も、生活の一部としてこれからも繋がっていくと思います。

女性 既婚 50歳代

居住年数や子供の年齢、そして私自身の年齢とともに繋がりや関わり具合が変化する。同じ地区に暮らしても、関わり方は当然ながら温度差もある。しかし、極力関わることで、縦横(男女・老人・大人・子供)の繋がりを太く長く広くしていきたいと思っている。

女性 既婚 50歳代

登下校の見守りやお祭りの世話など、子供達は地域の方々にとても親切にしてもらっています。私達は、そんな地域の自主防災会に参加したり、行事のお手伝いに行ったり、出来る限り関わってきたいと思っています。

女性 既婚 40歳代

積極的に関わっていききたいと思うが、時間的制約等で、現在は必要最小限の関わりしかもてていません。将来的にはもう少し密接に関わっていききたいと思っています。

女性 既婚 40歳代

最近核家族化し、地域との繋がりがなくなっているため、少しでも地域活動に参加し、かかわりたいと思います。

働く人の 地域での 諸活動。

女性 既婚 50歳代

特にボランティア活動に参加しているということはありません。市の一斉清掃あるいは地域の清掃活動に参加するぐらいです。

女性 既婚 50歳代

地域の役は、全部一通りさせていただきました。総会や清掃等、全部参加しております。自分達の住んでいる地域は、自分達で作っていくしかありません。我が地域は、あまり活動が活発ではないので、少しでも皆が集い、楽しめる場を作れたらと、思いのある人達と検討中です。

女性 既婚 50歳代

お祭りや校区の運動会に始まり市民清掃や組内の清掃、葬儀のお手伝い、年に一度の総会等、皆の集まれるであろう行事には時間の許す限り参加するつもりです。

男性 未婚 20歳

職場の組合活動の一環として開催されるソフトバレーなどに参加することで、仕事をしながらでは普段会話をする機会のない地元の方と関わりを持つことができ、こうした活動に参加することは地域のことを知るよい機会となっています。

女性 既婚 40歳代

子供の小さい頃は、学校や子供会を通じいろんな行事に参加をしていましたが、今は日程等の都合があわなかったり、地域への意識も薄く、全く参加していません。

男性 既婚 40歳代

町内自治会活動に参加し、町内の交流行事、青少年育成、敬老会事業に参加している。また、連合自治会の役員も兼ね小学校校区の活動にも参加している。校区の社会福祉協議会にも協力し、敬老会を中心とする活動にも積極的に関わっている。

地域での ●諸活動

p4 に続く